

## 8-4-2 生産性向上WG

### 1. WG 活動目的

建設事業全体の生産性向上を目指したDX推進において国交省によるBIM/CIM原則適用に基づき i-Construction（建設生産性改革）を推進する。

特に、BIM/CIMを3次元情報連携におけるマネジメントツールとして、また、3D設計に向けた活用など、これからの建設生産・管理システムの構築に向けて産学官一体となった取り組み検討を実施する。

- (1) BIM/CIM活用に関する技術動向等の情報収集と共有
- (2) 3D設計に向けた技術的課題の整理と検討
- (3) ICTおよびBIM/CIM活用促進
- (4) 会員企業の技術者教育の促進

### 2. 主な活動の記録

BIM/CIM活用促進に向けた各種委員会の活動等に参加し、それを通じ会員に情報共有を行った。また、BIM/CIM原則適用後のフォローアップ調査の実施ととりまとめを行った。さらに、歩掛作成に向けて見積り作成のための調査等を国交省と調整しつつ行ない、BIM/CIM見積りの標準フォーマットを作成し、本省のHPに公開した。そのため、ダム、砂防等の新たな事業分野の委員の補強を行った。

- (1) 生産性向上WGの開催
  - a) 令和6年度の実施体制、中期活動報告(R5)及び活動計画(R6)、国交省BIM/CIM関連委員会と東京大学寄付講座等へ参加し、会員に活動状況等を情報共有した。
  - b) 令和5年度からのBIM/CIM原則適用を踏まえ、その実施状況のフォローアップ調査の実施、歩掛作成のための「標準的な見積りフォーマット」の作成と国交省本省HPでの公表を行った。
  - c) BIM/CIMの成果品作成要領(案)の改訂のため会員企業への意見聴取とアンケート調査の実施ととりまとめを行ない、取扱要領の作成、公表を支援した。

- d) CAD製図基準の問題点、課題の抽出と整理、改定(案)の検討を行った。
- e) 3D設計については、国交省技術調査課と打ち合わせを行い、今後の建設コンサルタントの3D設計への取り組み方針、2Dと3D設計図の連動について精度面からの検討、今後のロードマップについて検討を行った。
- f) 各種委員会情報はDCBを活用し、適宜、情報共有を図った。

- (2) BIM/CIM関連の対外活動への参加
  - a) 令和6年度開催のBIM/CIM推進委員会2回(第12回R6/7/26、第13回R7/2/25)及び幹事会2回(第1回R6/11/11、第2回R6/11/22)等に参加するとともに、関連するPTへ委員派遣・検討支援を行った。
- (3) i-Construction、ICT導入推進に向けた活動
  - a) ICT導入協議会への参加2回(第19回R6/9/30、第20回R7/2/26)。関係する基準類の改訂情報やICT施工の各種事例情報の共有を行った。
  - b) コンクリート生産性向上検討協議会への参加(第14回R7/2/26)。
  - c) 建設施工における現場作業支援のDXに関するWG2回(第9回R6/7/4、第10回R7/2/19)
- (4) 他団体等との関連技術情報の共有
  - a) i-Constructionシステム学東大寄付講座
  - b) 日本橋梁建設協会  
令和6年4月に橋建協と共同宣言をしたデータ連携に対し、橋建協・建コン協およびソフト開発に関わるOCFの3者で構成するデータ連携活用検討WGを開催し、データ連携における課題抽出・対策を検討した。

### 3. 次年度の活動について

国土交通省が推進するBIM/CIMの活用がさらに進むよう、また、3D設計、3D設計図の発注図書化の実現に向けて種々の検討を行い、生産性のさらなる向上を目指す。

(生産性向上WG WG長 富田 邦裕)